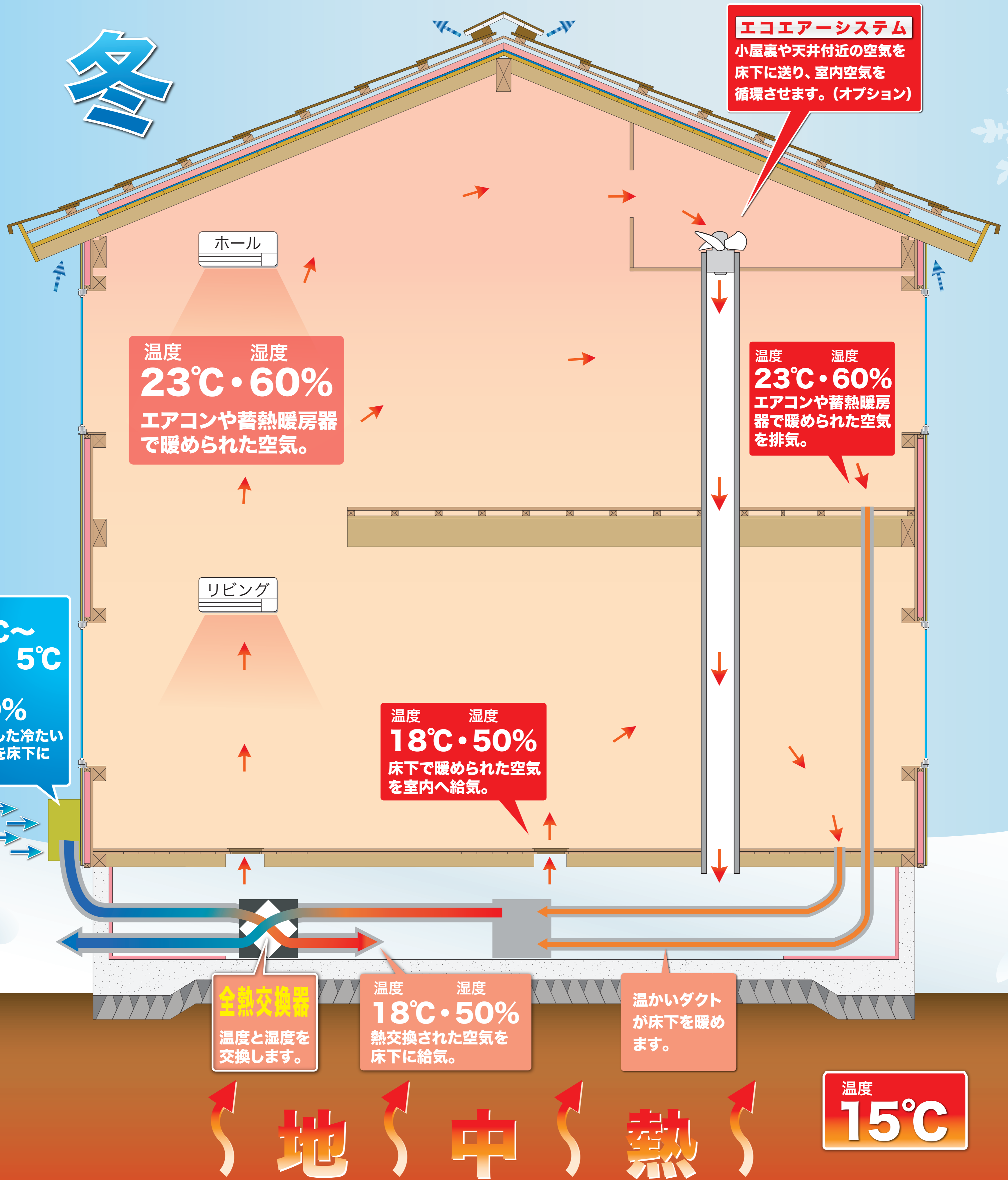


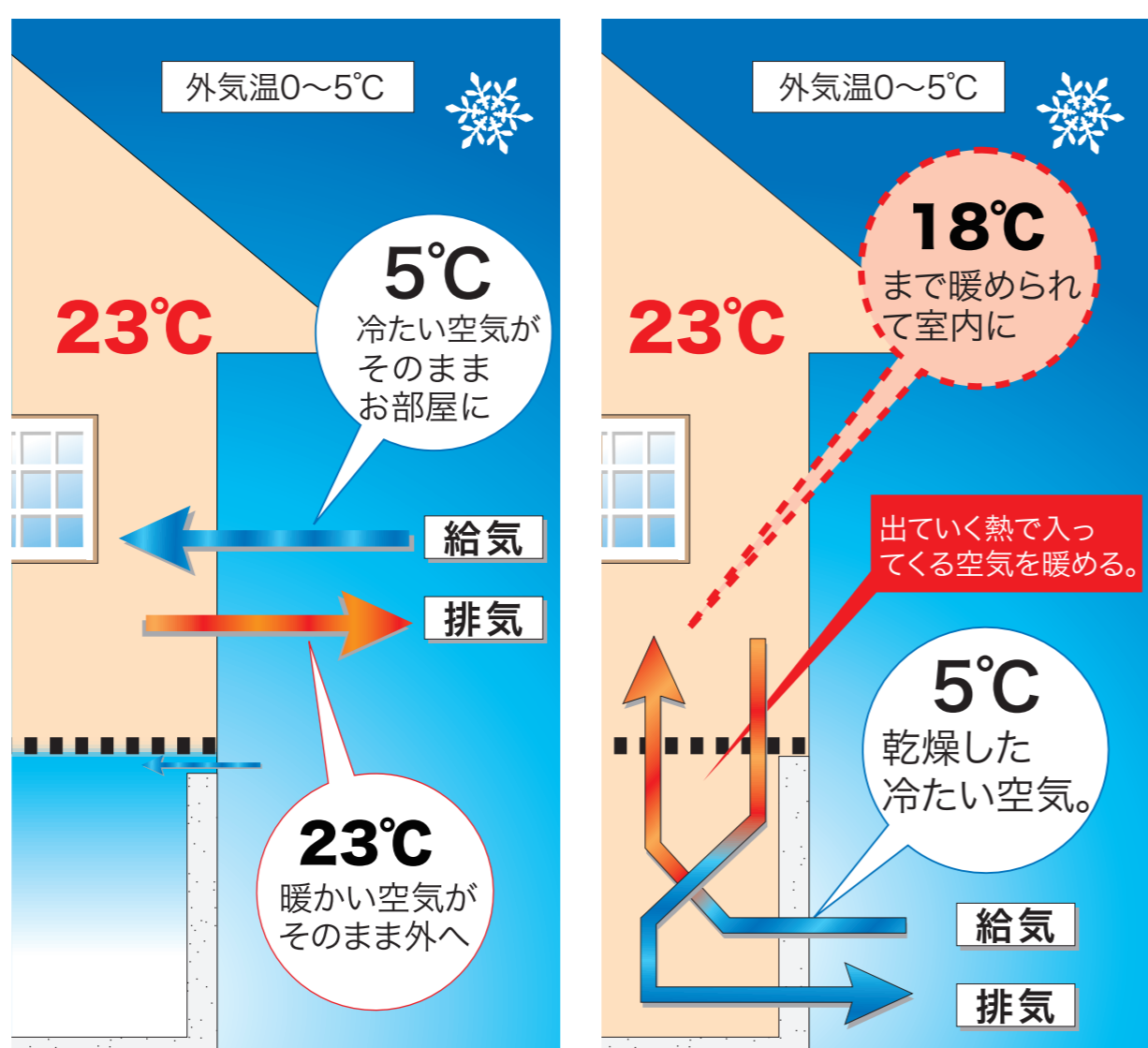
冬



暖房省エネルギー (熱交換) のメカニズム

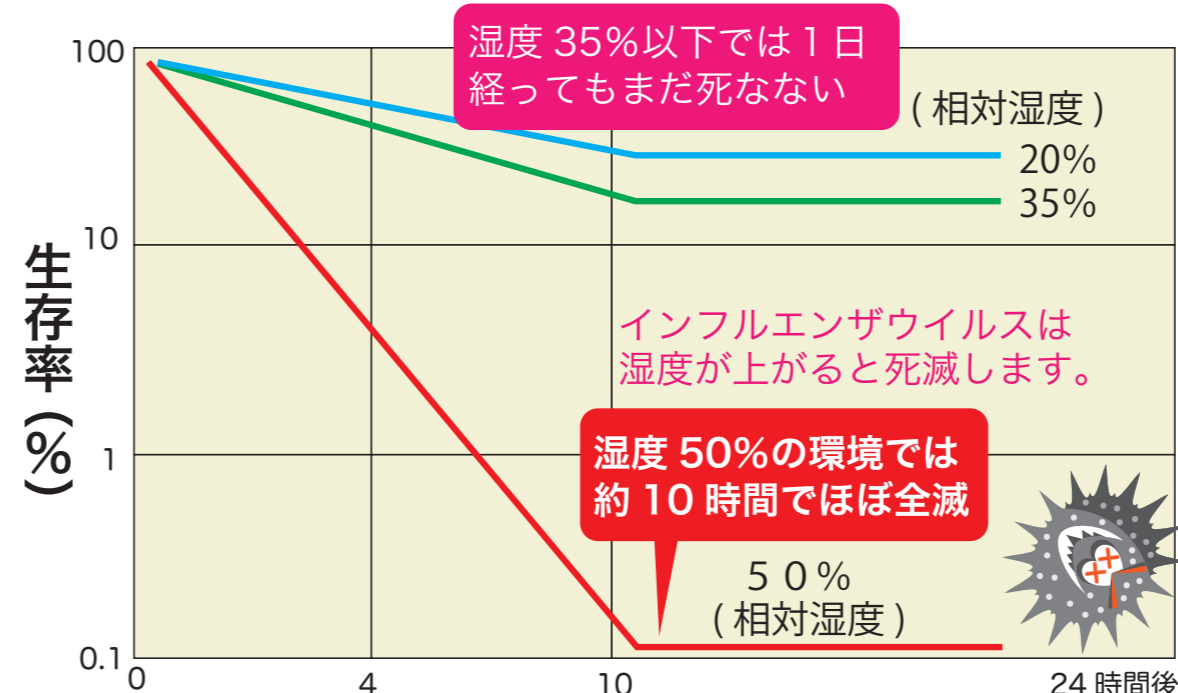
澄家Ecoの『全熱交換器』で、冷たい外気を各部屋の暖かい内気で、少々暖め床下空間に給気します。なおかつ、地中熱 (冬の床下は15°C前後の暖かい空間) が、ベタ基礎に伝わり、床下の冷やされた空気と混じり合ってから室内に給気します。

■熱交換しない場合 ■熱交換する場合



冬は過乾燥対策が重要

■インフルエンザウイルスの生存率



冬の空気は冷たく乾燥していますが、暖房によって部屋の温度を上げると更に空気が乾燥します。「インフルエンザウイルス」や「RSウイルス」などのウイルスは、低温低湿を好みます。

インフルエンザウイルスは湿度が35%以下の湿度が低い状態では1日経過しても生存していますが、湿度50%の環境では約10時間後にほぼ全滅します。換気の際に、水蒸気を回収し再び室内に取り入れる事は、抵抗力の弱い老人や乳幼児にとって風邪予防に有効な手段となります。